

名古屋で2月実験

相乗りタクシー AI配車



相乗りタクシーの
対象エリア

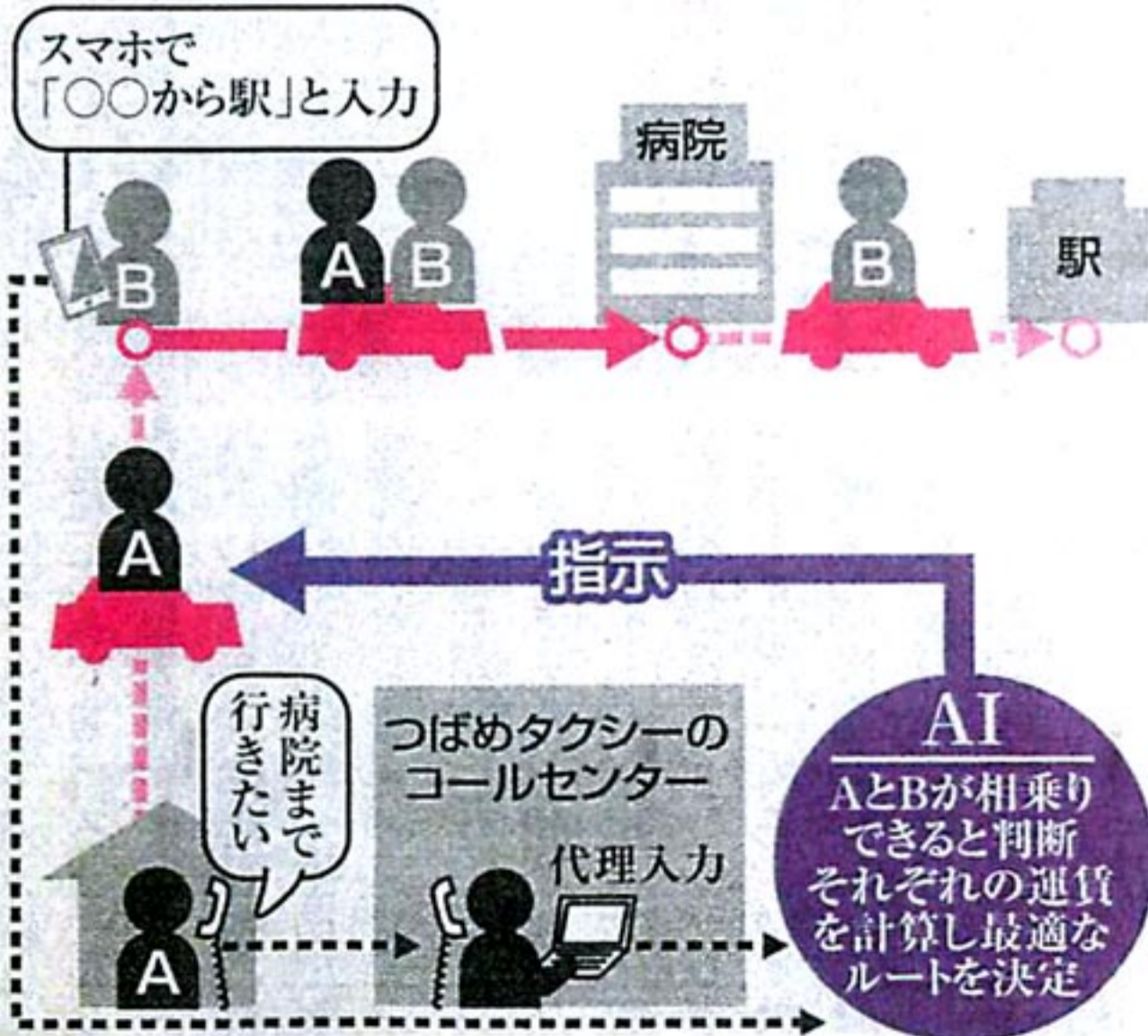
名古屋市の中心部にタクシー事業を展開するつばめグループは来年二月、相乗りタクシーの実証実験を同市の東部の六区内で実施する。事前に登録したモニター約千人が対象。相乗りが成立すれば、一人で乗る場合よりも遠回りになるが、相乗り区間は料金が折半となり、全体では最短距離を走った場合と比べて最大で四割ほど安くなるという。

(石原猛)

割安な料金で気軽にタクシーを利用してもらい、客層を広げるのが狙い。相乗りタクシーの実証実験は、東京以外では初となる。人工知能(AI)によるタクシーの配車サービスなどを手掛ける大学発ベンチャー「未来シェア」(北海道函館市)がシステムを開発する。実施するエリアは名古屋市中東、千種、昭和、瑞穂、名東、天白の各区内。中部運輸局に運行許可を申請しており、二月十九日から二週間、午前八時半から

つばめ 料金最大4割安

つばめグループによる
相乗りタクシーの実証実験の仕組み



午後四時半まで、三十台の相乗りタクシーが対象エリア内を運行する計画だ。利用者がスマートフォンや電話でタクシーを予約する。

道路運送法では、タクシー

と、未来シェアのAIが相乗りが成立するかや、どんな走行ルートが最適かを判定する。利用者には乗車前に相乗りした場合と、しなかった場合の運賃が伝えられる。初乗り料金は通常運賃と変わらず、目的地に向けて走っている途中で、相乗りが成立する場合もある。

の相乗りは原則禁止されている。一方で海外では自家用車を使って乗客を有料で運ぶ米国の「ウーバー」などの「ライドシェア」が広まっており、政府や業界では、既存のタクシーの利便性を高める規制緩和を検討している。国土交通省は一月から、全国初の相乗りの実証実験を都内で行う。グループ中核のつばめ自動車(天野清美社長は「腎臓病の透析患者など、日ごろからタクシーの利用が多い人たちにとって、安い料金で乗車できる相乗りの仕組みは、大きな意義がある」と話す。

同社は一月五日から三十一日まで、週二回以上タクシーを利用する可能性のある六区の住民を対象に実証実験の参加者を募集する。問い合わせは平日の午前九時から午後五時まで、つばめ交通協同組合 電052(201)8033へ。



発行所 中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052(201)8811

2017年(平成29年)
12月25日(月)

クリスマス

平安閣グループ
平安会館

名古屋(052)916-1251
尾張(0586)72-0400

事前相談受付中

スマホで便利
中日新聞 プラス
chuplus.jp

中日プラス

検索

登録のお問い合わせは
052-990-2731

CHUNICHI Web
www.chunichi.co.jp